

【補助事業概要の広報資料】

補助事業番号 24-8
補助事業名 平成24年度 プラント設計データの電子化に関する標準化補助事業
補助事業者名 一般財団法人エンジニアリング協会

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

- ・ 競合他国の進めている標準化検討の場への積極的な参画機会を提供する。
- ・ 国内外の有識者を交えた有益な議論の場を提供する。
- ・ 国際標準ガイドラインを作成し、公開する。

(2) 実施内容

海外プロジェクトに参画する企業からの専門家を中心に現状分析を行う。その分析を通じて、求められる引き渡し業務の範囲、対応の指針等からなるガイドブックの骨子について検討を行う。この検討結果に対し、機械工業界内外の有識者のレビューを受け、その内容のブラッシュアップを図る。また上述の有識者を招聘した国内会議などを開催し、発表の場とする。さらに国際会議への積極的な参画を含む国際的な連携を通じて、図書はもとより、電子データに関する総合的な引渡しに係る我が国に有益な「国際標準ガイドライン（平成24年度版）」を作成し、Webからのダウンロード、紹介セミナーの実施等により、業界への啓蒙・普及活動を実施する。この活動を通じ、我が国機械工業界の国際競争力の強化に寄与する。

<http://www.ena.or.jp/jra-subsidy-business/h24>

2 予想される事業実施効果

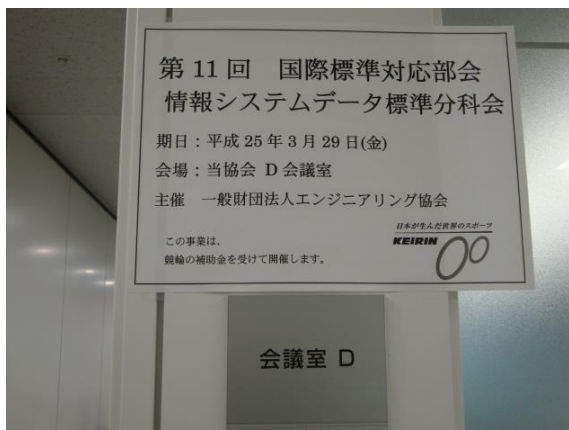
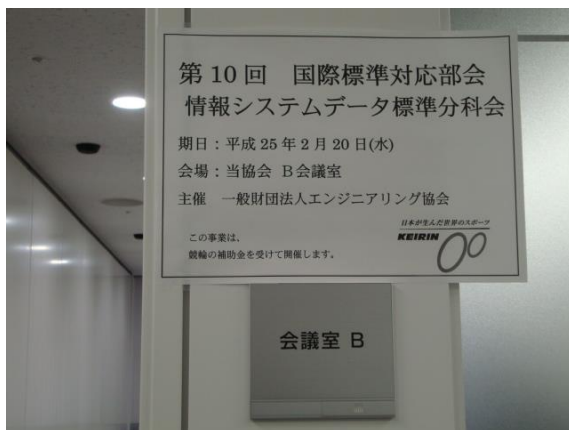
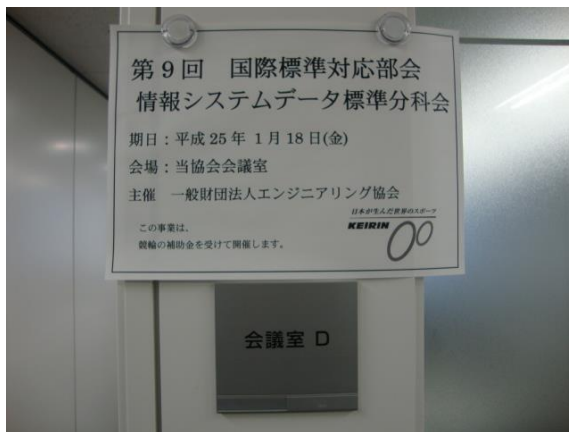
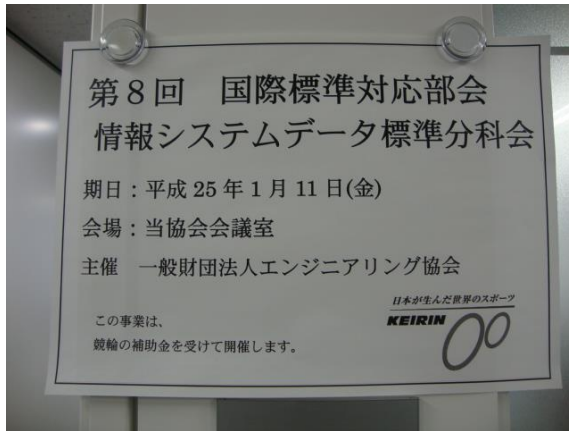
国際会議への積極的な参画を含む国際的な連携を通じて、図書はもとより、電子データに関する総合的な引渡しに係る我が国に有益な「国際標準ガイドライン」を策定・標準化し、それを機械工業界や客先へ啓蒙・普及する。これにより機械工業界としての顧客への電子データの引渡し要求に対し、柔軟な対応能力を発展させることで、我が国のエンジニアリング能力の高度化を図り、機械工業界の国際競争における更なる優位性の確保が期待できる。

3 本事業により作成した印刷物等

- ① 平成24年度プラント設計データの電子化に関する標準化補助事業 報告書
- ② プラント設計データの電子化 ガイドライン

4 分科会活動状況

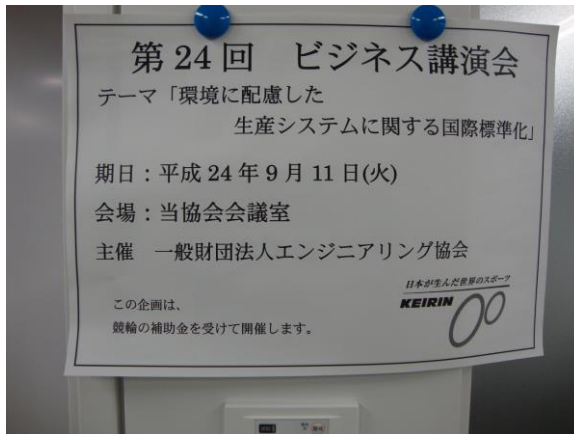
準備会、臨時開催などを含め13回の分科会を開催した。(以下写真抜粋)



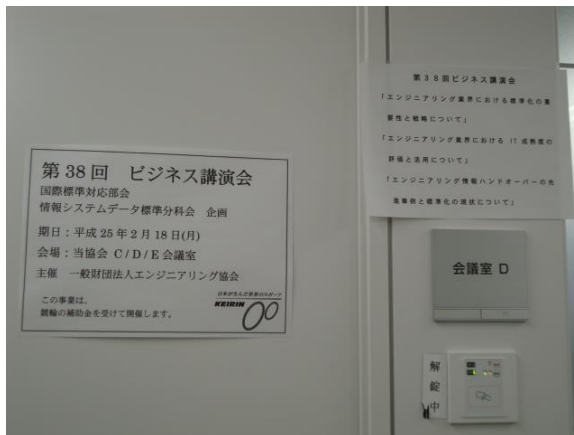
5 国内外の講師を招聘してのビジネス講演会の実施

- ① ISOTC184国内対策委員会会長 法政大学 木村教授
- ② NEDO (前MITE 国際プラント推進室長)和泉部長
- ③ USPI Director/ISO TC 184/SC 4/WG 3コンビナー Paul van Exel氏
- ④ Shell Global Solution Jason Robert氏

木村教授の講演会 写真



和泉部長の講演写真、Paul van Exel氏の講演写真およびJason Robert氏の講演写真



6 事業内容についての問い合わせ先

団体名： 一般財団法人エンジニアリング協会

住所： 〒105-0001

東京都港区虎ノ門3-18-19（虎ノ門マリビル10階）

代表者： 理事長 高橋 誠（タカハシ マコト）

担当部署： 総務部

担当者名： 部長代理 宮島 信一（ミヤジマ シンイチ）

電話番号： 03-5405-7201

F A X : 03-5405-8201

E-mail : miyajima@enaa.or.jp

U R L : (<http://www.enaa.or.jp>)